

表-6.12.2(3) 注目すべき生態系と生物種 (その2)

視点	類型区分	主な生物種	社会的的重要性	選定理由	
典型性	砂浜	ウミ ガメ類 アカウミガメ アオウミガメ	アカウミガメ 環境省RDB 絶滅危惧II類 沖縄県RDB 希少種 水産庁RDB 危急種 アオウミガメ 環境省RDB 絶滅危惧II類 沖縄県RDB 希少種 水産庁RDB 危急種	事業実施区域周辺 海域の砂浜に上陸、 産卵が報告されて おり、社会的に重 要である。	
	海草藻場	海草類	ウミヒルモ リュウキュウスガモ ベニアマモ リュウキュウアマモ ウミジグサ マツバウミジグサ ボウバアマモ	事業実施区域周辺海域では 通路川河口南側から白保沖 までの石垣南東岸で219haの 藻場が確認されている。 環境省RDB 準絶滅危惧種	事業実施区域周辺 海域の海草藻場は 面積が広く、多様 な生物の生育場、 索餌場としての機 能や、水質浄化の 機能が注目される。 平成13～15年度の サンゴ、藻場のス ポット調査結果か ら、藻場被度50% 以上の地点を海草 藻場として類型区 分し、以下のとお り注目種を選定し た。 ・魚類：全ての地 点において出現の みられた種類。 ・大型底生動物：3 割以上の地点で出 現のみられた種類。
		魚類	ヨコシマタマガシラ オジロスズメダイ ルリスズメダイ カマスベラ ハラスジベラ ミツボシキウセン ハゲブダイ アミアイゴ	一部漁獲対象となる。	
大型 底生 動物	アナエビ属 ヤドカリ亜目 ナガウニ	—	—		
サンゴ礁	サンゴ 類	カンボクアナサンゴ モドキ、 アオサンゴ、 ハナヤサイサンゴ*、 トゲサンゴ*、 ショウガサンゴ*、 チヂミウスコモンサ ンゴ、 枝状コモンサンゴ類 枝状ミドリイシ類 ユビエダハマサンゴ* クボミハマサンゴ*	事業実施区域周辺海域は比 較的広い面積で被度50%以 上のサンゴ群集がみられ、 轟川河口以南の白保の海域 は約100haの枝状コモンサン ゴを主とするサンゴ群集が 分布する他、北半球で最大 といわれるアオサンゴの大 群落がみられ、貴重なサン ゴ礁生態系を形成している。 水産庁RDB 減少 (アオサンゴ) 水産庁RDB 減少傾向 (クシハダミドリイシ) (クサビライシ)	事業実施区域周辺 海域のサンゴ礁は 面積が広く、多様 な生物の生育場、 索餌場としての機 能や、水質浄化の 機能が注目される。 平成13～15年度の サンゴ、藻場のス ポット調査結果か ら、サンゴ被度25 %以上の地点をサ ンゴ礁として類型 区分し、以下のと おり注目種を選定 した。 ・サンゴ：6割以上 の地点で出現、も しくは被度が30% 以上確認された種 類。または白化耐 性の弱い種類*。 ・魚類：全ての地 点において出現の みられた種類。 ・大型底生動物：3 割以上の地点で出 現のみられた種類。	
		魚類	ヨコシマタマガシラ デバスズメダイ ルリスズメダイ セナスジベラ ハゲブダイ サザナミハギ		一部漁獲対象となる。
		大型 底生 動物	ヤドカリ亜目 ナガウニ		—

*出典：Y. Loya, K. Sakai, K. Yamazato, Y. Nakano, H. Sambali and R. van Woesik(2001) Coral bleaching the winners and the losers. Ecology Letters,4:122-131.